



社教NFTかわら版

中部教育事務所社会教育だより(NFT=network・footwork・teamwork)

中部教育事務所第8号
平成26年2月5日
主任社会教育主事
安部亮太郎・山崎 蘭

★ 中部教育事務所管内の社会教育情報を発信します ★

「学校支援地域本部事業」を取り入れてみませんか？

国が市町村と協力して進めている「学校支援地域本部事業」とは、平たく言えば「地域の方に学校の支援を行ってもらおう！（それによって地域をつなげ、地域全体で教育に取り組む体制をつくろう！）」という事業です。
(※詳細については、2ページ目のHP参照)今回は、中部管内の蓮池小学校校区で行われている取組の紹介を通して、学校支援地域本部事業の優れた効果について報告します。

土佐市「蓮池小学校支援地域本部」の取組紹介

地域コーディネーターの野原さんは、「声をかけていたいてはじめてが、今では蓮池小学校で私を知らない子どもはいない。」「校長先生も気軽にしてほしいことを言ってくれるし、地域や子どもへの働きかけは、やりがいがあります。」と話していました。



地域コーディネーターや地域ボランティアなど、地域の様々な方が蓮池小学校の授業に入っています。

地域の方による授業

保育園やPTAも参加するこれらの行事について、関係者は「ふだんできない地域のみんなとかかわり、つながりができた。ありがたい」と話していました。子どもたちも「楽しい、うれしい。」と笑顔でした。



地域の方が中心になった行事も行われています。写真は「三世代交流もちつき大会・グランドゴルフ」の様子です。

地域の方による行事

「蓮池パトロール隊」のジャンパーを着た隊員が各地区の家の近くまで見守って行きます。「せめて朝だけでも参加したい」と来てくださった方もいます。安全や挨拶だけでなく、「この間楽しかったね。」など地域の方との会話のあるパトロールが行われています。



写真は、登下校の見守りパトロール「三木の日」(毎月第三木曜日)の様子です。

地域の方によるパトロール

★学校支援地域本部事業を行うとどんないいことがあるの？★

平成18年に改定された教育基本法(第13条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。)を具現化する方策の一つが学校支援地域本部事業です。

文部科学省では、「市町村」「地域の人」「子どもたち」「先生」それぞれに、次のようなことが期待できると考えています。(参照:文部科学省ホームページhttp://www.mext.go.jp/a_menu/01_l/08052911/004/002.htm)

市町村にとって

○地域の絆が強まり、地域の教育力が向上し、地域が活性化します。より住みやすい市町村になります。

地域の人にとって

○これまで培ってきた知識や経験を生かす場が広がり自己実現や生きがいづくりにつながります。

子どもたちにとって

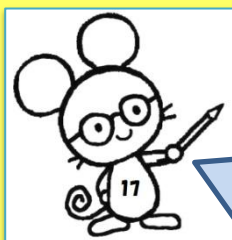
○多くの大人の関わりや見守りにより、よりきめ細かな教育が行われます。(自尊感情等にも影響)

○子どもたちが地域の大人とふれ合う機会が増え、より多様で充実した教育環境が整います。

○子どもへの地域に対する理解やボランティアへの関心が高まり、「生きる力」が育成されます。

先生にとって

○教員だけがすべて行う必要がない業務について地域が支援を行うことで、子どもと向き合う等の時間が増えます。



続いて、全国の学校の最新分析から明らかになっていることを見ていきましょう！

「蓮池小学校地域本部」では、「地域コーディネーター」の野原清司さんが中心になって、実際に支援活動を行ってくださる「学校支援ボランティア」さんとの連絡調整を行っています。

登下校の見守りパトロール「三木の目」でも、登録している地域の「蓮池パトロール隊」(P1写真参照)の皆さんが、朝・夕の時間帯と地域ごとに分かれて子どもたちの見守りを行っています。

このように「地域コーディネーター」さんが連絡調整を行い、学校を支援してくれることで、実際に上のような効果が表れています。

平成25年度全国学力・学習状況調査報告書 クロス集計 平成25年12月公表

〔表1-2-1〕教科の平均正答率と関係が見られた学校の取組

質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ学校の平均正答率			
		国語A	国語B	算数A	算数B
PTAや地域の人が学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか	①よく参加してくれる。	63.4	49.6	77.8	58.6
	②参加してくれる。	62.0	48.2	76.6	57.2
	③あまり参加してくれない	59.4	45.2	73.8	54.1
	+④全く参加してくれない				

学校の取組と
学力の関係

地域の参加が多い学校は、全ての教科で平均点が高い！

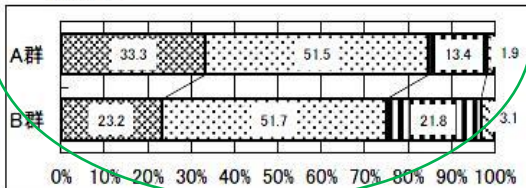
平成25年度全国学力・学習状況調査報告書 クロス集計

平成25年12月公表

全ての教科についての平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校(A群)と5ポイント以上全国平均を下回る学校(B群)の比較を行い、関係性が見られた設問。(※ここでは地域連携に関係したものを提示)

よく行った どちらかといえば、行った あまり行っていない 全く行っていない

*第6学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行い^いましたか

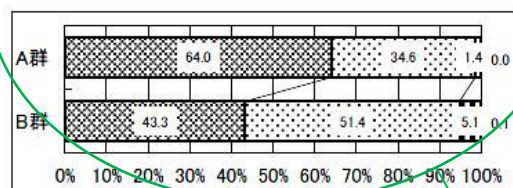


地域の人材を外部講師

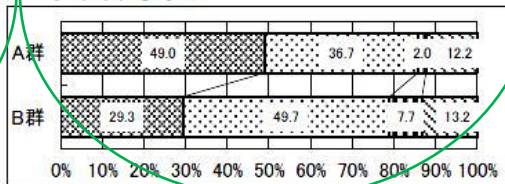
学校支援地域本部

よく参加してくれる 参加してくれる あまり参加してくれない 全く参加してくれない
(学校支援ボランティアの仕組みがない)

*PTAや地域の人^いが学校の諸活動(学校の美化など)にボランティアとして参加してくれますか

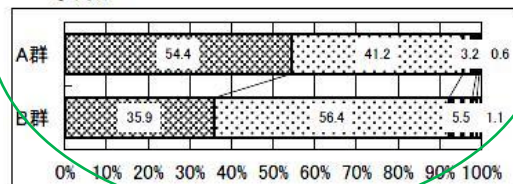


*学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人^いが学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか



そう思う どちらかといえば、そう思う どちらかといえば、そう思わない そう思わない

*保護者や地域の人^いの学校支援ボランティア活動は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか



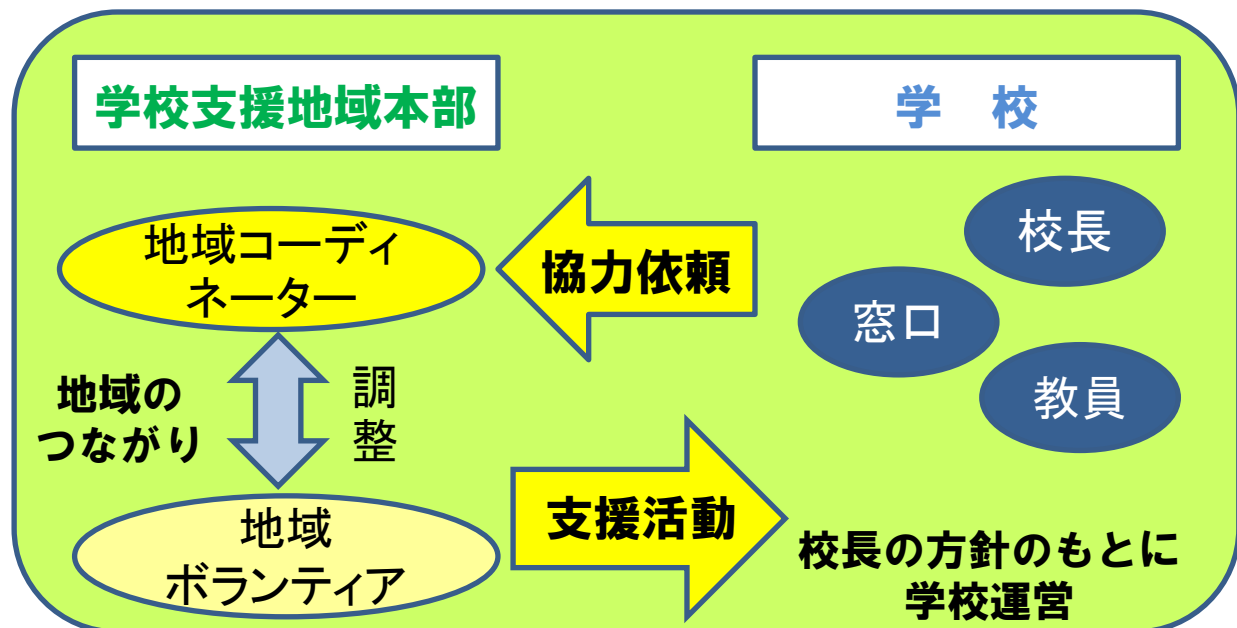
地域ボランティアの参加

学校の教育水準向上

学校支援地域本部は学力向上にも効果あり！

学力向上には、学校教育の取組が第一ですが、地域との連携をすすめ地域の力をかりることが学力向上へも影響するようです。

学校支援地域本部事業をはじめするには？



学校支援地域本部のしくみは上ようになります。学校支援地域本部を取り入れようとするとき、最低限必要なことは次の二つになります。

1. 子どもたちを支援しようとしてくれる人がいる。
(地域コーディネーターや地域ボランティアのような人がいる。)
2. 地域の力を取り入れようとする学校がある。
(そういった考えの校長先生や先生がいる。)

事業として行っていないなくても、このような取組を行っている地域はたくさんあるのではないのでしょうか。すでにこれらの条件がととのっている学校では、事業として学校支援地域本部事業を取り入れることで、補助金も受けられ、より充実した取組をすすめることができます。学校支援地域本部事業をぜひご活用ください。

※申請などの詳細については、高知県教育委員会生涯学習課

TEL 088-821-4897までお問い合わせください。

担当より

今回、蓮池小学校支援地域本部の取材をさせていただき改めてこの事業の素晴らしさを感じました。地域の方と子どもたちが顔見知りになって、家族のように、何気ない日常の会話が行われています。昔はあたりまえだったこのような光景は今ではすっかり減ってきました。今現在、これらのつながりが「ある」と「ない」では、その10～20年後を考えたとき、その違いはさらに広がっていくように思います。これらの光景は、私たちが未来に残していかななくてはならないものだと感じました。

日本全国で（県下も含め）、地域がつながり、子どもたちへの働きかけを行うことで、子どもたちの自尊感情も高まり、学力も向上しています。「学校支援地域本部事業」の導入を是非、検討ください！

地域の活動情報をお知らせください

中部教育事務所では、生涯を通し学ぶ喜びに満ちた教育的風土づくりを進めるために、各市町村の社会教育委員会やPTA、その他の社会教育諸団体と連携を図りながら支援助言を行っています。

また、情報収集に努め社会教育に役立つ情報を発信していきます。

地域の活動等情報がありましたらお知らせください。

連絡先：高知県教育委員会事務局中部教育事務所

TEL 088-893-6166 FAX 088-893-6167

E-mail 310305@ken.pref.kochi.lg.jp

担当：安部・山崎